

9	読む
俳句を味わう	
〔確認〕	
名前	解答

やってみよう

〔解答・解説〕

一 (1) (季語) 春風

・季節を表す言葉を季語といます。まず、季節を感じる言葉を探るのが、季語や季節を考えるときのポイントです。

(季節) 春

(2)

や

・主な切れ字には、「ぞ・かな・や・けり・ず・ぬ・らむ」があります。

(3)

イ

・「闘志(どうし)いできて」というところに、「さあ、がんばるぞ」という気持ちが表れています。ですから、答えはイを選びます。

二 (1)

秋

・「桐(きり)は、たんすなど家具の材料になる落葉樹(らくえつじゆ)です。その葉が落ちるので、この句の季節は秋だということが分かります。全体的に優しい感じがするので、台風など強い風で落ちたのではないだろうということが予想されます。

(2)

落ちにけり

・「落ちにけり」の「けり」は切れ字です。切れ字には、意味を強め、感動を深める働きがあります。つまり、切れ字があるところに、深く感動する気持ちが込められています。

知っておこう

俳句は伝統的には、五七五の定型で作られ、かつ季語を詠み込むことを原則としています。しかし、定型にとらわれない「自由律俳句」や季語のない「無季」の俳句もあります。

「自由律俳句」の例

分け入つても分け入つても青い山

種田山頭火 (たねださんとうか)

「自由律俳句」「無季」の例

犬よちぎれるほど尾をふつてくれる

尾崎放哉 (おざきほうがい)